

開催報告

国際シンポジウム題名	赤道大気に関するインドネシア国立航空宇宙研究所・京都大学国際シンポジウム	
開催日	令和 3 年 9 月 20 日～ 令和 3 年 9 月 21 日 (2 日間)	
主催部局	生存圏研究所	
協力部局名	生存圏研究所	
開催地	国名	
	開催地	
	会場名	オンライン開催
共催大学・機関名	インドネシア国家研究イノベーション庁・航空宇宙研究機構 (インドネシア)	
シンポジウム開催概要	<p>本シンポジウムは赤道大気レーダー(EAR)の完成から 20 周年を記念した国際シンポジウムである。EAR は、インドネシア共和国西スマトラ州に設置された大型大気レーダーで、京大大学生存圏研究所(RISH)とインドネシア国家研究イノベーション庁・航空宇宙研究機構(LAPAN/BRIN)の国際協力により 2001 年から運用されている。赤道インドネシア域は、積雲活動が活発で、地球規模の気候変動にも重要な役割を果たしている。生存圏研究所は、EAR を活用した研究活動をより強化するため、2005 年から EAR とその関連設備を共同利用に供している。本シンポジウムでは、20 年間の EAR および関連設備から得られた様々な研究成果について活発な議論がなされた。シンポジウムは第 6 回 ARN シンポジウムと協同開催され、大気科学、農業生命科学、木材科学等の分野における科学技術や「持続可能生存圏」の創成に寄与する広い分野がカバーされた。</p>	
参加者数(聴衆を含む)	533 人	